



スマート保育園® 通信

2021年度

4月号

特集1

ルクミーICT導入で見てきた、
業務効率化と増える写真の共有
効果測定アンケートのご報告

特集2

「保育者の振り返り、どうしてる？」
振り返りがしやすい場づくりの実践例

コラム
保育者からの贈り物

特集1

効果測定アンケート のご報告

ルクミーICT導入で
見てきた業務効率化と
増える写真の共有

2021年2月、モデル園8園の保育者に対して、ルクミーICT導入の効果・影響を測る定期的な効果測定を行いました。お忙しい中、各園の皆さまにはご協力いただきまして、改めてお礼申し上げます。

全てのモデル園において、業務負担の軽減や、保育者間・対保護者への写真共有の機会の増加が見られ、ルクミーICTの導入は、園運営に対して期待通りの成果を上げることができました。

前回調査(2020年10月)は107人、今回調査(2021年2月)は143人を対象に、同一項目を比較。平均値の比較で見られた変化をご紹介します。

全体の傾向

「保育の楽しさ」は前回同様高く、4.39ポイントで維持。
ノンコンタクトタイムの実施状況は微増で、以下が各項目の中でも大きくアップ、最大0.32ポイントアップしていました。

大きくアップした項目

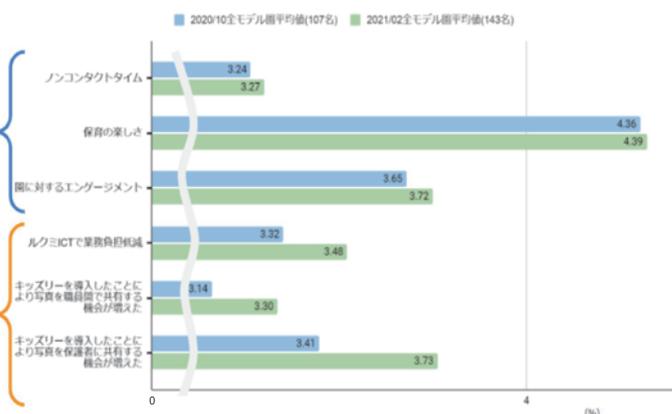
- 「ルクミーICTで業務負担低減」
- 「キッズリーを導入したことで写真を職員間で共有する機会が増えた」
- 「キッズリーを導入したことで写真を保護

ICT間接要因

ICT直接要因



回答者の平均値推移



者に共有する機会が増えた」

また、園に対するエンゲージメントも微増ではありますがスコアアップしており、園管理者にとっては好ましい状況がうかがえました。

ルクミーICTを導入して、保育に集中できる時間が増えた

「子どもの安全を安心して確保できると共に、保育に集中できる時間が増えた」
 「慣れるまでは大変でしたが、慣れたらケータイ操作の方が楽になりました」
 「撮った写真が自動でアップロードされるのは楽だ」
 「3才以上児クラスでは保護者、保育者共に書き物の量が減り楽になった」

ルクミーICTの導入により、保育の質を維持するためには欠かせない「保育者間の情報共有」や、文章を書く量や作業が減ることへの良さを実感する声が多く上がっていました。

ICT導入による「振り返り」実施についてはまだ課題も

「形に記録が残るので見返しやすい」「確認したい事を日付を追って確認出来る事が便利」など、振り返りの便利さについては多くの声があがっていましたが、保育者の業務が効率化され、保育者として時間をかけたいところに時間をかけられるようになった結果、保育者としての理想と現実のギャップにシビアになる傾向もみられました。

たとえば振り返りについては、上記振り返りに取り組みやすくなる声が上がっている一方、全体数値としては、5園中5園が、振り返りが「できていない・どちらでもない」が10月と比べて増えており、実施については伸びしろがある結果となりました。

そこで、特集2では、園での「振り返り」実施のアイデアの一助になるよう、モデル園での「振り返り」事例をご紹介します。

特集2

「保育者の振り返り、 どうしてる？」

振り返りがしやすい 場づくりの実践例

効果測定アンケートで今後の伸びしろとして見えてきた振り返りの実践。他の園ではどのようにされているのでしょうか。今回はユニークな取り組みをしている株式会社 Step up 統括の村本先生にお伺いした、心育保育園の実践事例をご紹介します。

ただの『報告会』の会議をやめて、褒め合う時間に。ワンチームとして、ポジティブに保育を話し合える環境づくりを

心育保育園では、園長の村本先生のリードのもと、ルクミーのICTツールを全面的に活用。

効果測定のアンケートでは、次のように、保育をより「楽しい」と感じるようになり、

保育者のスキルが向上したことが見える結果を出されています。

一保育者が実感している、成果として向上できたもの

- ① 同僚と語り合う時間
- ② 保育者が気持ちを落ち着かせる、時間的な余裕

▼下のグラフ(1)は、「同僚と語り合う時間はどの程度取れているか」を尋ねた質問への回答です。

過去の調査と比べて、20ポイント以上あがっていることがわかります。

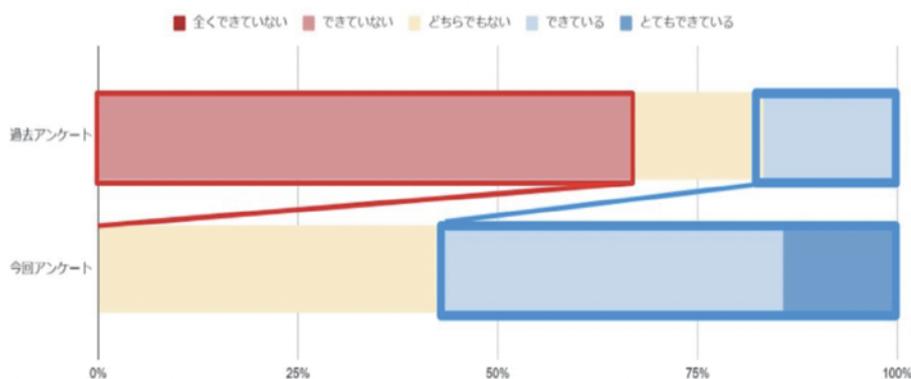
▼下のグラフ(2)は「保育者が気持ちを落ち着かせる時間的な余裕があるか」を聞いた質問。ネガティブがなくなり、ポジティブに変化してきていることがわかります。

これらが向上する背景には、園長・主任やクラスの先生が、ワンチームとしてお互いを認め合い、相談し合える関係性づくりの様々な工夫がありました。

■ 心育保育園のとりのくみ

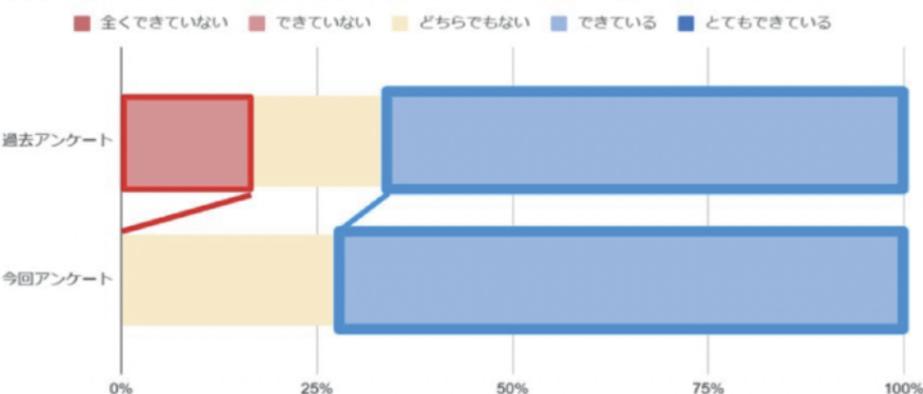
▼グラフ(1)

会議以外の場で、子どもたちの遊びや育ちについて同僚と語り合う時間はどの程度取れていますか？



▼グラフ(2)

勤務時間内にご自身の気持ちを落ち着かせる時間的な余裕はありますか？



①全体での職員会議を廃止し、クラス単位で安心して相談し合える場にチェンジ

・以前は全体で職員会議を行っていたが、報告会になっていた。そのため会議での時間の使いかたを見直し、会議自体をクラスごとに実施。各クラスの課題やクラスの担任とじっくり向き合う時間をつくった。

・会議の場を小さい単位にしたことで、職員が躊躇なく発言しやすい場に。

②クラス会議には園長や法人統括も参加し、ダイレクトな認めと話しやすい雰囲気づくり

・自分の取り組みを伝え、相手の取り組みを聞くことで、保育の質の面でとても良い刺激になっている

・その結果、園内研修として別途セットしなくても、毎月の会議が『研修兼会議』のように機能しており、効率的に学ぶことができている

・統括である村本先生と園長先生にとっては参加する会議が増えるが、管理職にとっても学びの場と前向きにとらえ、時間を捻出している

③毎月チャレンジテーマを決め、自己評価・他己評価をすることで自信と意欲アップ

毎月のクラス会議では、以下図のシートを活用し、以下について実施。

・その際にチャレンジテーマを宣言する。(例:自発的な遊びが出てくるような環境設定をする!)

・次月の会議で「〇〇までしかできなかったの60点です」など自己評価を実施

・同時に他の先生からも「私から見ると、こういったことも出来たから80点だと思うよ」と評価してもらう

④役職ではなく名前呼び合うことで、チームとしての意識を高める

法人統括である村本先生や、各園の園長先生もクラスの会議に参加し、お互い役職ではなく名前呼び合うことで、保育者へ「横並びでいっしょに考えていく仲間」というスタンスが明確にでき、安心感につながっている。

▼こちらが、実際に職員会議で使っている達成評価シート

***令和3年度 会議シート【心育保育園】**

組 名 前 _____

○先月の自己課題についての達成状況
★ _____ %達成

○達成する為に取り組んだこと。(環境構成、手立て、言葉掛け等具体的に)

○担当児の姿について
【好きな遊び】

【苦手な活動】

【担当保育者との関りについて】

【環境構成について、変更した方がよいこと。変更させて良かったこと。】

○来月の目標を1つ
★

■ おわりに

「元々保育者は子どもの良いところを伸ばしていける手立てを考えるプロ」という視点にたち、大人同士で褒め合う会を実践してみたらどうかと聞いた、という村本先生。

会議の内容を見直し、コミュニケーションしやすい場を用意することで、園内研修の1回で終わってしまうことなく、継続的に自分自身のことも、保育のことも、ポジティブに振り返っていける風土づくりに成功していることが、園の離職率低下にもつながっている秘訣だと感じました。



「振り返り」の必要性はわかっている、でも、「取り組む時間がなくて…」という声はまだまだ少なくありません。振り返りをするためのマネジメントの実例を伺い、ルクミーのメンバーも大変勉強になりました。工夫の結果が、今回の効果測定アンケートの「振り返り実施」のスコアにあらわれていたのだと思います。各園での実践アイデアの一助になれば幸いです。

今後もスマート保育園通信では、保育の質向上に役立つ情報をお届けしてまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

保 育 者 か ら の 贈 り 物 Vol.8

父「今日保育園で何したの？」
 息子「〇〇くん(息子の名前) △△くん(同級生) ペんしたっ！」
 父「んんっ？〇〇くんが△△くんをぺんしたの？」
 息子「うん。〇〇くん △△くん ペんしちゃったっ！」
 正直、耳を疑いました。まさか自分の子供がよその子供に手をあげるとは思ってもいなかったもので、翌日さっそく先生に真相を聞いてみました。
 先生「そうなんです。でも〇〇くん、ちゃんと『ごめんなさい』して偉かったんですよ。この年頃のほとんどの子供が通る道です。ちゃんと謝ることができたこと、褒めてあげてくださいね！」
 事実であったことに衝撃を受けましたが、先生の偉大な愛にも打ちのめされ、暖かい言葉にとても救われました。また、友達に謝ったのかを息子に聞けなかった自分を恥じました。子供の社会性を育てるという意味でとても大事なことに関わらず、です。子供達と愛情深く向き合い、心に寄り添い、冷静に成長を支えてくださる先生方にはいつも感謝し、たくさんのことを学ばせていただいています。
 今でも「ぺんしちゃったっ！」の報告がたまにあります。なぜ叩いたのか？ちゃんと謝ったのか？仲直りできたのか？を聞いた上で子供と向き合うように心がけてます。「□□ちゃん ペんしちゃったっ！」と言われた時にはさすがに「女の子を叩くのはやめてっ！」とすぐに言ってしまいました。(笑)





全国の数百園のご応募の中から、スマート保育園®のモデル園11園が選出されました。

当園は、スマート保育園®のモデル園です。

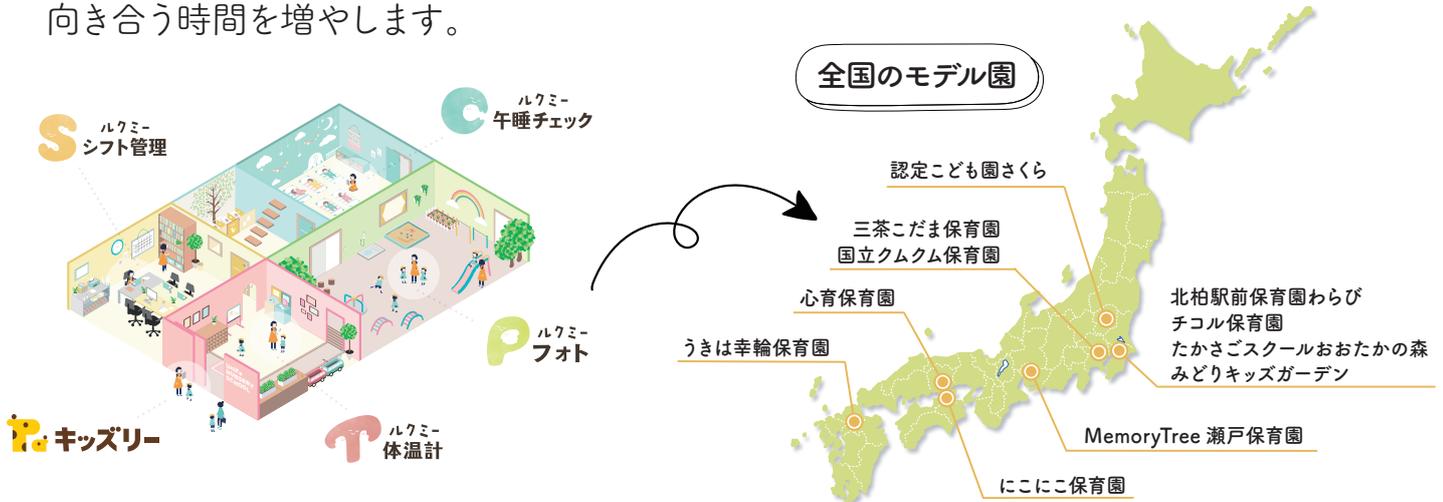
スマート保育園®って？
 テクノロジーの支援で、
 保育者の「心」と「時間」にゆとりが生まれ、
 子どもと向き合うことに集中できる保育園です。
 お子さまと「もっと向き合いたい」という
 保育者の想いを支えます。

スマート保育園になると、子どもにとってはどう良くなるの？
 紹介動画をご覧ください



※お使いのカメラアプリで、QRコードが読み取れます。

1. 複雑な保育の現場業務を、見える化し、その中にひそむ課題を洗い出します。
2. ルクミーの全サービス*を全て導入して、園業務を効率化し、保育者がお子さまに向き合う時間を増やします。



3. 保育者へのオンライン研修や保育者ケアなど、保育の質向上への支援を受けます。

* テクノロジーによる業務支援サービス



ルクミー オンライン研修, 保育者ケア



Creating new infrastructure for society that brings happiness to families around the world

家族の幸せを生み出す
 あたらしい社会インフラを
 世界中で創り出す

